

平成25年における熱中症に関する農林水産省の取組

平成25年10月28日
第1回熱中症関係省庁連絡会議幹事会

農林水産省では、熱中症対策について7月の熱中症予防強化月間にあわせて以下の取組を行った。

農作業中の熱中症予防のための留意点について、都道府県および農業機械業界団体等へ通知を発出し、農業者へ徹底指導を行った。(別紙1)

農作業時における熱中症の注意喚起のため、「熱中症予防声掛けプロジェクト」と連携し作成したポスター約18,000枚をJAや農業機械の販売店、行政機関等に配布するとともに、チェックシートを作成し、農林水産省のホームページに掲載した。(別紙2)

地方農政局においても独自に熱中症の注意喚起チラシを作成し、農業者へ配布した。(別紙3)

農林水産省の職員も屋外の現場作業等で熱中症になる危険性があることから、本省職員に対して、熱中症への注意を促すとともに、熱中症予防強化月間を周知した。

25生産第1043号

平成25年6月20日

各農政局生産部長 殿
北海道農政事務所農政推進部長 殿
内閣府沖縄総合事務局農林水産部長 殿

農林水産省生産局農産部技術普及課長

農作業中の熱中症に対する指導の徹底について

農作業中の熱中症事故は毎年発生しており、特に気温の高い7月、8月に事故が多く発生しているところです。気象庁が発表している3ヶ月予報での今夏の平均気温は、全国的に平年並み、又は平年より高いとされており、農作業時の熱中症対策が重要となっています。熱中症は、梅雨明け後の蒸し暑い日など、身体が暑さに慣れていない時に起こりやすい傾向があることから、今後の暑熱環境下での作業は特に注意が必要です。

つきましては、ほ場や施設内での農作業中の熱中症による事故を防止するため、「農作業安全のための指針（平成14年3月29日付け13生産第10312号農林水産省生産局長通知）」において、暑熱環境下での作業の留意点についてとりまとめているところですが、熱中症の発生が急増する時期を迎えるにあたり、別紙により農業者等に対し周知を徹底いただくようお願いします。

なお、本年から熱中症搬送者数や死亡者数の急増する7月を「熱中症予防強化月間」と定め、関係省庁が連携し、熱中症予防の呼びかけ等を行っていきこととなりました。「熱中症予防声かけプロジェクト」と農林水産省が連携して作成したポスター及びチラシの活用、気象庁が発表する「高温注意情報」及び「高温に関する気象情報」などにも留意し、熱中症に対して十分な対策をとるよう貴管内都道府県への指導をお願いします。

農作業中の熱中症予防について

夏場等の暑熱環境下での作業は、熱中症を生じるおそれがあるので、次の事項に注意すること。

ア 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。

気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に気を付けること。

イ 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。

作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業するように努めること。

ウ 屋内では遮光や断熱材の施工等により、作業施設内の温度が著しく上がらないようにするとともに、風通しをよくし、室内の換気に努めること。

作業施設内に熱源がある場合には、熱源と作業者との間隔を空けるか断熱材で隔離し、加熱された空気は屋外に排気すること。

また、日頃からの農作業を安全に行うため、次の事項にも併せて留意すること。

ア 作業当日の気候条件や作業者の体調を勘案し、無理のない作業となるよう、余裕のある作業計画を立てること。

イ できる限り複数で作業を行うこと。複数で作業を行う場合は、事前にその日の作業について打合せを行うこと。一人で作業を行う場合は、家族等の関係者に作業内容や作業場所を明確に伝えておくこと。

ウ 万が一に備える観点からも、携帯電話を必ず身につけておくこと。また、緊急連絡先も登録しておくこと。

エ 高齢農業者に対しては、周囲の者による「声かけ」を通じて、お互いの農作業安全に対する意識の向上に努めること。また、高齢農業者が行う作業の分担や作業方法について地域において配慮すること。

オ また、この時期、梅雨による大雨や台風による災害も予想されるため、人命第一の観点から、ほ場の見回り等については、気象情報を十分に確認し、大雨や強風が治まるまでは行わないこと。また、大雨等が治った後の見回りにおいても、増水した水路など危険な場所には近づかず、足下等、ほ場周辺の安全に十分に注意し、転落、滑落事故に遭わないよう慎重に行うこと。

参考資料

- 農林水産省ホームページ（農作業安全対策関連）
「農作業安全のための指針」、「『熱中症予防声かけプロジェクト』との共同制作チラシ」等を掲載。
http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html

- 熱中症関連省庁連絡会議
http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/index.html
参考別紙1 環境省作成の熱中症パンフレット
「熱中症～御存知ですか？予防・対処法～」

- 気象庁熱中症関連サイト
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>

- 熱中症予防声かけプロジェクトホームページ <http://www.hitosuzumi.jp/>
企業及び行政等と連携して、ポスター、チラシ及びインターネットなど様々なコミュニケーションツールで熱中症予防を国民に呼びかける運動を展開。昨年からは農林水産省も本運動と連携し、ポスター及びチラシを作成し、現場への周知を図る。
参考別紙2 本年度ポスター案（追って2013年度完成版を送付予定）
参考別紙3 昨年のチェックシート（2013年度完成版を農林水産省ホームページに掲載予定）

「熱中症予防強化月間」の実施について

平成25年6月4日

関係省庁連絡会議決定

1. 趣旨

熱中症対策については、政府において、関係省庁連絡会議を設置し、熱中症の予防と応急対策に係る知識の普及、熱中症対策関連情報の周知や地域の実情に応じた対策の推進を図ってきたところである。

しかしながら、平成22年度以降、夏期（7～9月）における熱中症による救急搬送者の数は急増し、平成23年度以降はその数が毎年4万人前後で推移するなど、日中の屋外での労働やスポーツの現場での発生のみならず、夜間や屋内も含め、多様な生活環境下において、高齢者も含め幅広い年代層で発生しており、こうした多岐に渡る状況に効果的に対応するため、より一層の国民や関係機関への周知等が重要となっている。

こうした状況を踏まえ、また、国民一人一人が正しい知識を持つことで、熱中症の被害を減らすことができることに鑑み、熱中症搬送者数や死亡者数の急増する7月を「熱中症予防強化月間」（以下「月間」という。）と定め、国民や関係機関への周知等の効果をあげることにより、熱中症の発生を大幅に減らすことを目的とするものである。

2. 期間

毎年7月1日から7月31日までの1か月間

3. 実施体制

熱中症関係省庁連絡会議の構成員である消防庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、気象庁及び環境省が、他の関係省庁の協力も得て、国民や関係機関への周知等を行うものとする。

4. 月間設定に伴う主な取組事項

月間中に関係省庁が取り組むべき事項は、以下に掲げる取組を含め、予め関係省庁連絡会議において検討、決定するものとする。

- ① 国及び地方公共団体の関係機関等におけるポスターの掲示等による月間設置の周知
- ② 月間中を含め関係省庁等が実施する熱中症関連の取組の取りまとめとその周知
- ③ 月間中に関係省庁等が実施する行事において熱中症予防の呼びかけ

熱中症について

熱中症とは…

- 高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こります。
- 気温が高い、湿度が高いなどの環境条件と、体調が良くない、暑さに体がまだ慣れていないなどの個人の体調による影響とが重なることにより、熱中症の発生が高まります。
- 屋外で活動しているときだけでなく、室内で特に何もしていなくても熱中症を発症し、救急搬送されたり、死亡する事例が報告されています。

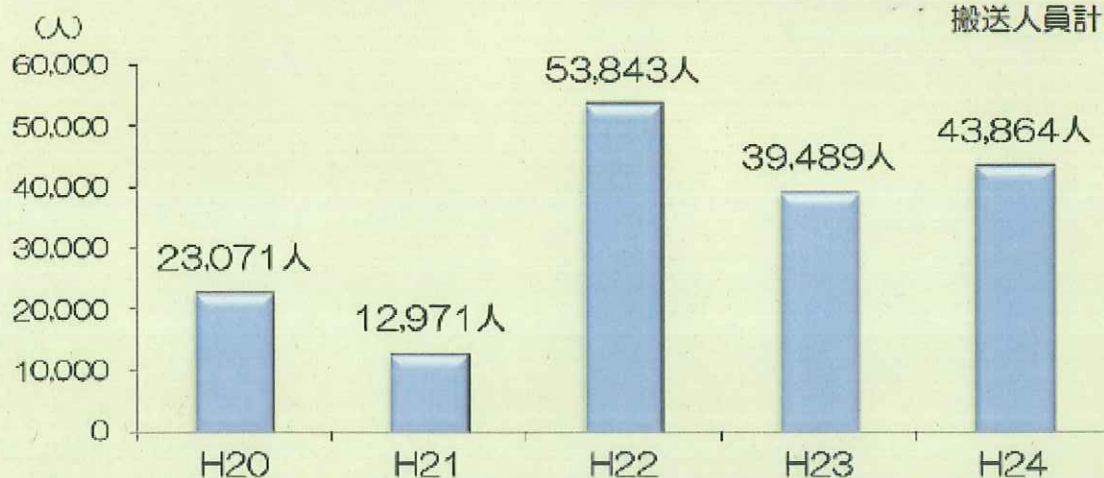
急に暑くなった日は特に注意！

室内にいるときも注意が必要！

熱中症による救急搬送が増えています

熱中症による救急搬送者の推移（平成20年～平成24年 7月～9月）

搬送人員計 173,238人

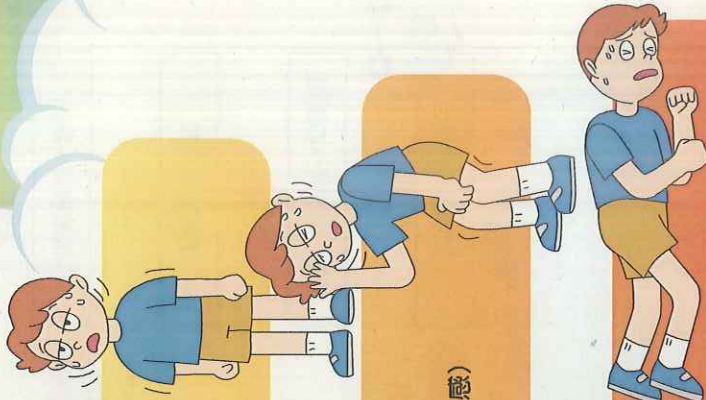


出典URL (厚生労働省) <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001ei44-att/2r9852000001ei82.pdf>
(消防庁) <http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2506/pdf/250603-1.pdf>

熱中症

～ご存じですか？予防・対処法～

こんな症状があったら
熱中症を疑いましょう



軽

めまい
立ちくらみ
筋肉痛
汗がとまらない

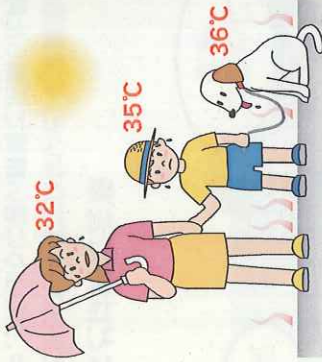
中

頭痛
吐き気
体がだるい(倦怠感)
虚脱感

重

意識がない
けいれん
高い体温である
呼びかけに対し返事がおかしい
まっすぐ歩けない、走れない

幼児は特に注意



- 幼児は体温調節機能が十分発達していません。特に注意が必要です。
- 晴れた日には、地面に近いほど気温が高くなるため、幼児は大人以上に暑い環境にいます。

高齢者の注意点

- のどがかわかなくとも水分補給
- 部屋の温度をこまめに測る

- 高齢者は温度に対する感覚が弱くなるために、室内でも熱中症になることがあります。
- 室内に温度計を置き、こまめに水分を補給することを心掛けましょう。

◆ 環境省熱中症情報に関するホームページ

- http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/index.html
- ◆ 熱中症環境保健マニュアル
http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/manual.html
- ◆ 熱中症予防情報サイト
<http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/index.html>
- ◆ 熱中症患者速報
<http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/spot/index.html>
- ◆ 携帯サイト版 熱中症予防情報サイト
<http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/kt/index.html>



- ◆ 携帯サイト版 熱中症予防カード
<http://www.env.go.jp/k/chemi/heatstroke/>

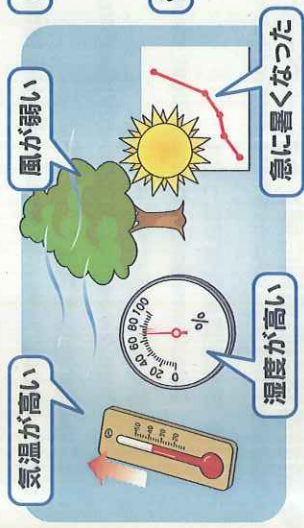
環境省総合環境政策局環境保健部 環境安全課
〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 5 号館
TEL:03-3561-3351 (代表)

環境省

熱中症は予防が大切です

熱中症は気温などの環境条件だけではなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起きます。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高い・風が弱い日や、体が暑さに慣れていない時は注意が必要です。

こんな日は熱中症に注意



こんな人は特に注意



熱中症の予防法

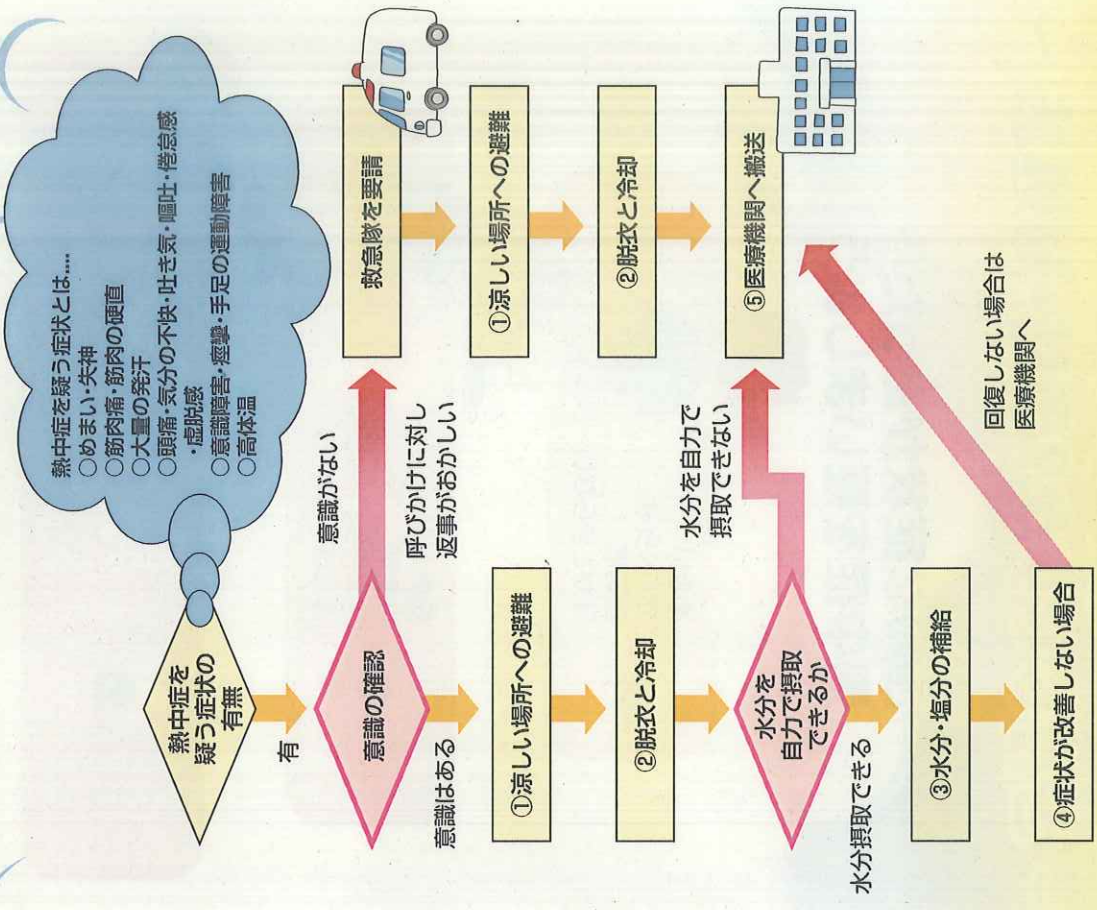


*急に暑くなった日や、活動の初日などは特に注意

人間の体は暑い環境での運動や作業を始めてから3~4日経たないと、体温調節が上手になってきません。このため、急に暑くなった日や、久しぶりに暑い環境で活動した時には、体温調節が上手くいかず、熱中症で倒れる人が多くなっています。

*汗をかいた時には塩分の補給も忘れずに

熱中症になったときには



農作業時の熱中症に注意!!!



天気予報と 体調をチェック

- 急に暑くなる日は要注意です。
- 体調不良時は、無理をしないように。



涼しい服装・ 安全な作業環境

- 帽子で日差しを遮り、汗を逃がしやすい服装で。
- 作業はできる限り二人以上で。建屋の中でも風通し良く。



こまめな水分補給 こまめな休憩

- 喉が渇く前に、こまめに水を飲みましょう。
- こまめに涼しい場所で休憩しましょう。



高齢者は要注意!



高齢者は若者に比べると、暑さや喉の渇きも感じにくくなっています。周囲の人も積極的に声をかけましょう。



熱中症になってしまったら

- 涼しい場所に避難させる
- 衣服を脱がせ、身体を冷やす
- 水分を補給する
- 自力で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救助隊を要請しましょう

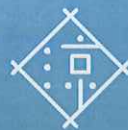
皆で涼しい場所を分かちあおう! クールシェア!

クールシェアとは、涼しい場所に集まることで、ひとり1台のエアコン使用をやめる呼びかけで、地球温暖化防止、節電につながります。

COOL
SHARE

クールシェア

声をかけあって、
熱中症を予防しよう!



ひと涼みしよう

熱中症予防 声かけプロジェクト



<http://hitosuzumi.jp>

ひと涼み

農林水産省



農林水産省は農作業中の事故防止に取り組んでいます!

農水省 農作業安全

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen

農林水産省は熱中症予防声かけプロジェクトに参加しています。

農作業時の熱中症予防チェックシート

チェックしてくま!



- 天気や気温を確認しましたか？**
出かける前にならず天気予報を確認しましょう。急に暑くなる日は熱中症の危険が高くなります。梅雨明け直後は要注意です。風が弱い日や、湿度が高い日は熱中症にかかりやすくなります。
- 体調は万全ですか？**
体調不良(二日酔い・寝不足・風邪気味)の時は熱中症の危険度が増します。
- 朝ごはんは食べましたか？**
朝食で取るべき栄養分と水分をきちんと取りましょう。
- 涼しい服装を選んでいますか？**
服装は、日差しを遮り、汗を逃がしやすいものを着ましょう。吸汗・速乾性に優れた素材の服がオススメです。
- 日差しを遮る帽子はありますか？**
つばの広い帽子をかぶり、直射日光を遮りましょう。
- 飲み物は持ちましたか？**
水分補給をこまめにとりましょう。特に高齢者は水分不足や暑さを感じにくくなっているため、喉が渇く前に積極的に給水しましょう。大量に汗をかく場合は、塩分も補いましょう。
- 二人以上での作業ですか？**
一人で作業中に熱中症になると、助けてくれる人がおらず重症化するおそれがあります。できる限り二人以上で作業をし、体調不良時は我慢せず不調を伝えましょう。
- 作業場所は熱がこもりませんか？**
ハウスや畜舎など気温が上昇しやすい施設内での作業は、風通しをよくしましょう。室内の換気をして、熱がこもらないようにしましょう。
- 作業計画に無理はありませんか？**
涼しい時間帯に作業をしましょう。もし暑い時間帯に作業するときは、休憩をこまめに、作業時間を短くなどの工夫を。
- 緊急連絡先を知っていますか？**
いざという時のため、緊急連絡先を持ち歩きましょう。具合が悪くなったら無理せず、医療機関にかかりましょう。



第3回農作業安全フォトコンテスト応募作品

熱中症は、適切な対策を取れば防ぐことができます。
お互いに声をかけあって、熱中症を予防しましょう。

Point! 天気予報と体調をチェック。

急に暑くなる日は要注意。体調不良時は無理をしないように。

Point! 涼しい服装・安全な作業環境。

日差しを遮り汗を逃しやすい服装で。
作業はできる限り二人以上で。建屋の中でも風通し良く。

Point! こまめな水分補給・こまめな休憩。

喉が渇く前に、こまめに水を飲みましょう。
こまめに涼しい場所で休憩しましょう。

農作業時の熱中症予防チェックシート

チェックしよう

天気や気温を確認しましたか？

出かける前にならず天気予報を確認しましょう。急に暑くなる日は熱中症の危険が高くなります。梅雨明け直後は要注意です。風が弱い日や、湿度が高い日は熱中症にかかりやすくなります。

体調は万全ですか？

体調不良(二日酔い・寝不足・風邪気味)の時は熱中症の危険がたかくなります。作業時間を減らす、負荷の軽い作業にする、作業をとりやめるなど、無理をしないように。

朝ごはんは食べましたか？

朝食で取るべき栄養分と水分をきちんと取りましょう。規則正しい食事は熱中症を防ぐことにもつながります。

涼しい服装を選んでいますか？

服装は、日差しを遮り、汗を逃がしやすいものを着ましょう。綿や麻などの自然素材、スポーツウエアなどの吸汗・速乾性に優れた素材の服がオススメです。

日差しを遮る帽子はありますか？

つばの広い帽子をかぶり、直射日光を遮りましょう。忘れたら、面倒でも取りに帰ることが身を守ることにつながります。

飲み物は持ちましたか？

水分補給をこまめにしましょう。特に高齢者は水分不足や暑さを感じにくくなっているため、喉が渇く前に積極的に給水しましょう。大量に汗をかく場合は、塩分も補いましょう。

二人以上での作業ですか？

一人で作業中に熱中症になると、助けてくれる人がおらず重症化するおそれがあります。できる限り二人以上で作業をし、体調不良時は我慢せず不調を伝えましょう。

作業場所は熱がこもりませんか？

ハウスや畜舎など気温が上昇しやすい施設内での作業は、風通しを良くしましょう。室内の換気をして、熱がこもらないようにしましょう。

作業計画に無理はありませんか？

涼しい時間帯に作業をしましょう。もし暑い時間帯に作業するときは、休憩をこまめに、作業時間を短くなどの工夫を。また、作業初日からの無理は禁物です。

緊急連絡先を知っていますか？

いざという時のため、緊急連絡先を持ち歩きましょう。具合が悪くなったら無理せず、医療機関にかかりましょう。

農林水産省 中国四国農政局 生産部 生産技術環境課
TEL 086-224-4511(内線:2774)